

歳出 309億2,881万円 (前年度比 19億9,956万円減)

歳出のポイント

【国の要請による人件費の減】

東日本大震災の復興財源とするために国家公務員の給与が減額されたことに対応し、国からの要請に基づき庄原市でも職員給与を平均4.36%減額しました。そのほか、計画的な職員数の減などにより、人件費が前年度から2億7,468万円の減となりました。

【大規模な建設事業の終了】

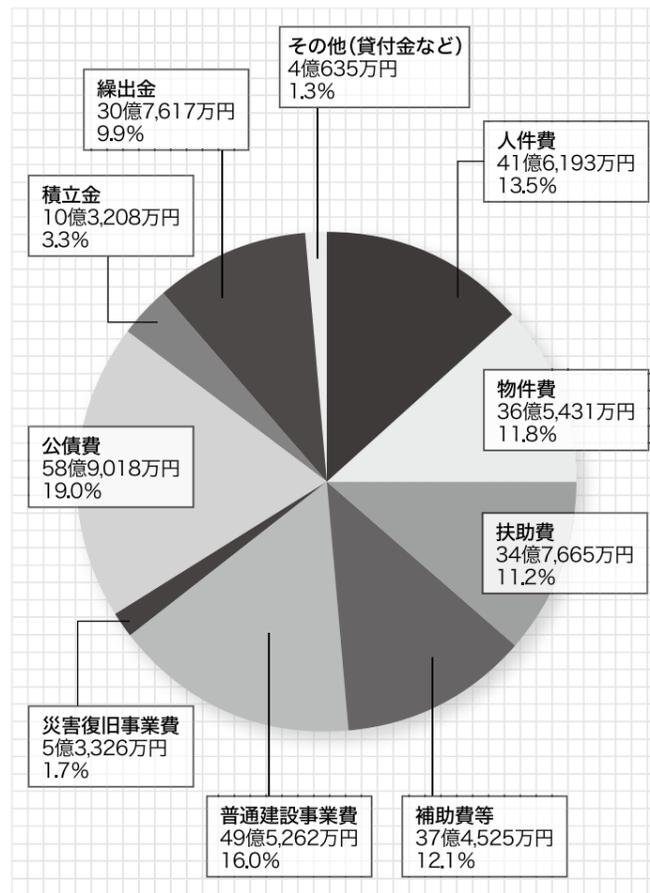
高野観光交流ターミナル(道の駅)やとうじょう自治総合センター、庄原保育所、高野保育所などの大規模な建築事業が完了したことから、普通建設事業費が19億4,055万円の大幅な減となりました。

【基金への積み立てを実施】

将来の市の負担を軽減するため、基金(市の貯金)へ積み立てを行いました。

具体的には、景気の変動による税収の減少や突発的な災害などで多額の支出が必要となったときなど、不測の事態に備えるための「財政調整基金」へ5億5,305万円、市債の償還に充てるための「減債基金」へ3億2,000万円、地域住民の連携強化や地域振興のための「地域振興基金」へ1億5,873万円などです。

これらは、後年度で取り崩して、事業を実施する財源に充当します。



| 会計名 | 歳入決算額 A | 歳出決算額 B | 前年度比 | 差し引き C=A-B | | |
|------------------|------------|------------|-----------|------------|--------|------------|
| 住宅資金特別会計 | 744万円 | 644万円 | 0.3% | 100万円 | | |
| 歯科診療所特別会計 | 2,667万円 | 2,609万円 | 1.5% | 58万円 | | |
| 休日診療センター特別会計 | 1,241万円 | 1,241万円 | 皆増 | | | |
| 国民健康保険特別会計 | 43億1,906万円 | 43億1,205万円 | △0.9% | 701万円 | | |
| 国民健康保険特別会計(直診勘定) | 1億512万円 | 1億19万円 | △4.8% | 493万円 | | |
| 後期高齢者医療特別会計 | 6億2,953万円 | 6億2,685万円 | △1.0% | 268万円 | | |
| 介護保険特別会計 | 59億8,974万円 | 58億9,882万円 | 1.3% | 9,092万円 | | |
| 介護保険サービス事業特別会計 | 4,862万円 | 4,862万円 | 23.9% | | | |
| 公共下水道事業特別会計 | 8億8,093万円 | 8億7,983万円 | △16.0% | 110万円 | | |
| 農業集落排水事業特別会計 | 3億3,634万円 | 3億3,590万円 | △26.3% | 44万円 | | |
| 浄化槽整備事業特別会計 | 1億9,958万円 | 1億9,916万円 | △13.1% | 42万円 | | |
| 簡易水道事業特別会計 | 4億2,158万円 | 4億1,481万円 | △7.2% | 677万円 | | |
| 工業団地造成事業特別会計 | 8,868万円 | 8,863万円 | △74.9% | 5万円 | | |
| 宅地造成事業特別会計 | 9万円 | 9万円 | △94.5% | | | |
| 企業会計 | 水道事業 | 収益的収支 | 6億6,331万円 | 6億5,299万円 | 3.0% | 1,032万円 |
| | | 資本的収支 | 3億6,733万円 | 6億5,025万円 | 11.8% | △2億8,292万円 |
| | 病院事業 | 収益的収支 | 12億432万円 | 12億3,778万円 | 1.5% | △3,346万円 |
| | | 資本的収支 | 3,449万円 | 5,743万円 | △58.2% | △2,294万円 |

平成25年度

決算の状況

平成25年度の市の決算がまとまり、市議会9月定例会で認定されました。市民の皆さんからの税金をはじめとする市のお金か、どのように使われたのかをお知らせします。

財政課財政係 0824-73-1129

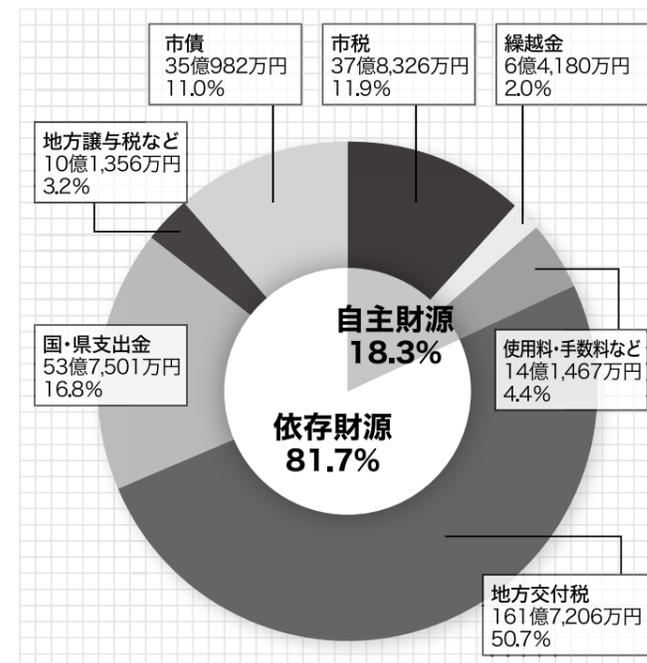
一般会計の決算額

- 歳入 319億1,018万円
- 歳出 309億2,881万円
- 差引額 9億8,137万円(A)
- 平成26年度へ繰り越す財源 2億421万円(B)
- 実質収支(A)-(B) 7億7,716万円

※金額は万円未満を四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも一致しません。

このうち、4億円を市の貯金である財政調整基金へ積み立てました。

歳入 319億1,018万円 (前年度比 20億5,999万円減)



歳入のポイント

【自主財源比率は低い状況】

歳入には、市の独自の収入である「自主財源」と、国や県などから交付される収入である「依存財源」があります。依存財源が多いということは、市の財政運営が国や県の動向に大きく影響されることになり、自主的・安定的な財政運営ができていないとは言えません。

平成25年度の自主財源の割合は18.3%でした。前年度と比べて0.7%改善していますが、依然として低い状況です。

【市税は前年度とほぼ同額】

市税は税制改正などにより法人市民税が前年度から3,191万円の減となったものの、固定資産税が1,279万円、たばこ税が2,346万円の増となり、市税全体では前年度とほぼ同額となりました。

【臨時交付金により国庫支出金が増】

国の補正予算として「地域の元気臨時交付金」5億300万円が交付されたことから、国庫支出金が増額となりました。

緊急経済対策として、自治振興センターの改修や、市道の舗装工事などの財源として活用しました。

【普通建設事業の減による市債の減】

庄原保育所や高野保育所、道の駅たかのなど大規模な建設事業が平成24年度で完了したことから、市債(市の借金)は前年度から19億5,049万円の減となりました。

主な歳入項目

| 項目 | 決算額 | 前年度比 |
|---------|-------------|--------|
| 市民税 | 15億1,737万円 | △1.8% |
| 固定資産税 | 18億8,792万円 | 0.7% |
| 地方交付税 | 161億7,206万円 | △0.3% |
| 国・県支出金 | 53億7,501万円 | 1.0% |
| 市債 | 35億982万円 | △35.7% |
| 使用料・手数料 | 3億5,376万円 | 4.0% |
| 前年度繰越金 | 6億4,180万円 | △24.4% |

市債および基金の残高

| 会計 | 平成25年度末残高 | 前年度からの増減額 | 基金名 | 平成25年度末残高 | 前年度からの増減額 |
|---------------|--------------------|--------------------|---------------|-------------------|-------------------|
| 一般会計 | 428億5,473万円 | △20億5,115万円 | 財政調整基金 | 34億1,434万円 | 13億5,305万円 |
| 住宅資金特別会計 | 2,017万円 | △509万円 | 減債基金 | 3億2,231万円 | 3億2,000万円 |
| 公共下水道事業特別会計 | 61億1,215万円 | △1億8,491万円 | 地域振興基金 | 39億4,598万円 | 1億5,911万円 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 36億1,681万円 | △1億5,422万円 | 国民健康保険財政調整基金 | 3億9,488万円 | △1,493万円 |
| 浄化槽整備事業特別会計 | 3億7,897万円 | 3,735万円 | 農業集落排水事業減債基金 | 1億9,916万円 | 44万円 |
| 簡易水道事業特別会計 | 20億4,963万円 | △1億8,817万円 | その他の基金 | 4億1,979万円 | 1,764万円 |
| 水道事業 | 34億8,585万円 | △1億2,713万円 | 基金残高合計 | 86億9,646万円 | 18億3,531万円 |
| 病院事業 | 4億7,256万円 | △4,246万円 | | | |
| 市債残高合計 | 589億9,087万円 | △27億1,578万円 | | | |

● 市民一人あたりの市債残高 1,527,786円
 ● 市民一人当たりの基金残高 225,227円
 (平成26年3月31日現在の住民基本台帳人口38,612人)

平成26年度上半期 予算の執行状況

市は毎年財政状況を公表し、予算の執行がどのような状況になっているのかをお知らせしています。今回は、平成26年度予算の9月30日現在の執行状況をお知らせします。

一般会計・特別会計・公営企業会計の収支状況

| 区分 | 予算現額 | 収入済額 | 収入率 | 支払済額 | 支払率 |
|---------|---------------|-------------|--------|-------------|-------|
| 一般会計 | 332億8,260万円 | 155億6,741万円 | 46.8% | 114億6,230万円 | 34.4% |
| 特別会計 合計 | 135億440万円 | 45億4,697万円 | 33.7% | 53億9,265万円 | 39.9% |
| 国民健康保険 | 41億8,747万円 | 14億3,432万円 | 34.3% | 18億2,929万円 | 43.7% |
| 介護保険 | 64億1,973万円 | 25億4,744万円 | 39.7% | 24億9,691万円 | 38.9% |
| 公共下水道事業 | 9億99万円 | 1億4,644万円 | 16.3% | 3億5,237万円 | 39.1% |
| その他 | 19億9,622万円 | 4億1,876万円 | 21.0% | 7億1,408万円 | 35.8% |
| 水道事業 | | | | | |
| 収益的収支 | 収入 9億7,377万円 | 2億8,502万円 | 29.3% | | |
| 資本的収支 | 支出 8億3,755万円 | | | 3億4,993万円 | 41.8% |
| 収益的収支 | 収入 9億720万円 | 1億2,971万円 | 14.3% | | |
| 資本的収支 | 支出 10億5,267万円 | | | 1億8,800万円 | 17.9% |
| 病院事業 | | | | | |
| 収益的収支 | 収入 12億7,432万円 | 6億4,136万円 | 50.3% | | |
| 資本的収支 | 支出 13億1,728万円 | | | 6億1,095万円 | 46.4% |
| 収益的収支 | 収入 3,326万円 | 3,326万円 | 100.0% | | |
| 資本的収支 | 支出 5,860万円 | | | 2,112万円 | 36.0% |

税の収入状況 (一般会計・国民健康保険特別会計)

| 区分 | 予算現額 | 収入済額 | 収入率 |
|---------|------------|------------|-------|
| 地方税 | 37億5,180万円 | 23億2,020万円 | 61.8% |
| 国民健康保険税 | 7億4,089万円 | 2億4,664万円 | 33.3% |

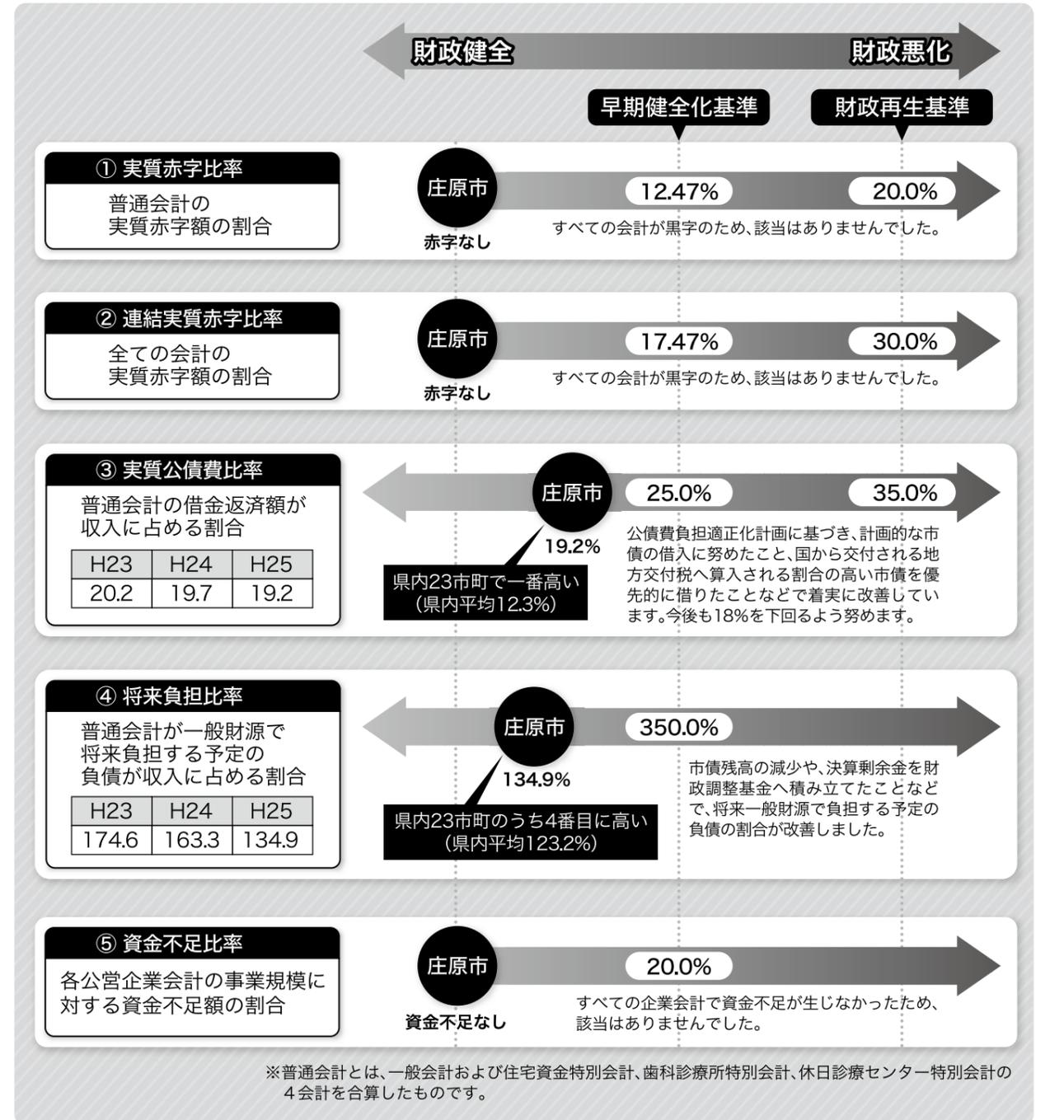
市債残高

| | |
|------|-------------|
| 一般会計 | 398億1,919万円 |
| 特別会計 | 119億2,259万円 |
| 企業会計 | 38億4,817万円 |
| 合計 | 555億8,996万円 |

庄原市の財政は健全？5つの指標で見よう

地方公共団体の財政の健全性は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、4つの健全化判断比率と公営企業の資金不足比率によって判断されます。これらの比率が「早期健全化基準」(財政運営上のイエローカード)や「財政再生基準」(財政運営上のレッドカード)を上回ると、財政再建のための計画を策定し、その計画に従った財政運営を行わなければなりません。

平成25年度の決算に基づく各比率の算定結果は次のとおりです。



それぞれの比率はイエローカードである早期健全化基準を下回っていることから、庄原市の財政は今のところ健全であると言えます。しかし、実質公債費比率は県内で1番高く、将来負担比率も県内で4番目に高い数値となっています。これらの比率は年々改善してはいますが、今後も、さらに財政の健全化を図るため、歳入の確保や歳出の見直し、市債残高の減少に努めていきます。